



“撤去すべきは成田空港”

新やぐら
ら結審

成田空港会社(NAA)が私たち反対同盟所有の監視やぐら・看板などの収去と土地の明け渡しを求めた新やぐら控訴審(東京高裁第2民事部・渡部勇次裁判長)が5月9日、結審しました。

弁護団はこの日のために準備した380頁もの準備書面の要旨を陳述。反対同盟を代表して萩原富夫さんも意見陳述(要旨2面)に立ち、「撤去されるべきはやぐら・看板ではなく成田空港の方だ」と裁判所に強く迫りました。

NAAは耕作者である市東さんに知らせず地主から農地を「取得」。それを隠し15年間も旧地主に地代を受け取らせてきました。このような詐欺(さぎ)的手法は違法・無効であり、NAAがやぐら・看板の撤去を求める権利はありません。判決日は9月2日。ご注目を。



東京高裁包囲デモ (5月9日)



弁護士会館で裁判報告集会

第5回 天神峰檜の木まつり

7月3日(日) 午後0時30分 市東さんの南台農地集合

デモ行進後、市東さん宅中庭でまつり

◎三里塚裁判

団結街道裁判 7月1日(金) 午前10時30分～ 千葉地裁

第3誘導路裁判 7月8日(金) 午前10時30分～ 千葉地裁

萩原富夫さんの意見陳述^{新やぐら}（要旨）_{控訴審}

1 反対同盟の看板・やぐらは市東孝雄さんの農地と一体であり、空港会社に収去を求める権利はありません。

成田空港会社は土地の買収において農地法違反を犯し、買収したことを隠していました。1988年に岩沢から買収し、2003年に所有権移転の登記をしました。この間の15年間は一体何なのか。空港公団は、当時存命だった東市さん（孝雄さんの父）に何も知らせず、明け渡しの要望もせず、放置していました。この経緯を見て、“どこが転用目的の買収だから合法”と言えるのでしょうか。現在、さらに19年が経過しています。合わせて34年です。空港会社が所有権を主張するには無理があるからこういう異常なことになったのです。市東さんの小作農地の売買は農地法にてらして100%違法です。

そもそも反対同盟の看板・やぐらが建っている土地の使用権者は、所有者が誰であろうと市東さんから借り受けた空港反対同盟です。看板・やぐらも反対同盟のもので、その敷地の使用権は反対同盟が持っています。

2 土地明け渡しと工作物収去の請求は、市東さんの営農と生活を侵害して追い出すことが目的である。

空港会社の農地転用の目的は空港建設のためと言います。しかし、空港の計画前からずっと天神峰で農業を営む市東さんの生活を破壊することは絶対に許されません。

への字に曲がっていて困っているとは誰も言いません。市東さんが営農していることを前提に空港が造られ、日々供用されています。

市東さんの営農と生活を破壊して空港会社が得るものは、一体、何なのでしょう。への字に曲がった誘導路がまっすぐになったから効率がよくなるなどと言うことは絶対にありません。

空港会社が明け渡し訴訟を起こした本当の目的は、もっぱら市東さんをいじめて追い出すことにあると思います。裁判所も本当は分かっているはず。農民いじめを直ちにやめてください。

3 成田空港の需要は減り、LCC（格安航空会社）と貨物の空港になる。

欧米の路線は多くが羽田に移り、すでに羽田

の方が多くなっています。成田の国際線の7割が中国・アジア路線となっています。関西空港もアジア路線を狙っていて、成田の路線はさらに減る傾向にあります。

また、激減した需要は戻りません。ビジネス客はリモートの活用で移動の必要がなくなりました。頼みは観光だけですが、政府が中国との戦争を構えていては、需要は伸びないでしょう。アジアでは魅力的で巨大な空港がたくさん建設されています。成田空港に展望はありません。

日経新聞の4月8日の特集記事「岐路の航空①」では、「世界は移動に対する価値観が一変。大量輸送が成長の前提ではなくなり、CO2を排出する航空産業への風当たりは強まる。さらに成長が見込まれる近距離を輸送する次世代モビリティ市場の主演は航空会社だけではない」「空飛ぶタクシーは大規模な滑走路は不要で、鉄道などの交通手段がない過疎地の移動の克服につながる期待がある」「むやみやたらに（大型の）飛行機を飛ばす時代ではなくなる」「移動の需要が戻らないだけではない。多くのCO2を出す航空機を大量に飛ばすことに利用者や資本市場の視線は変わりつつある」などと書いています。

成田空港はLCCと貨物の空港に変わりつつあると同時に、需要そのものが減少します。コロナ前にいわれていた「増大する需要」に対応するための機能強化を直ちに中止すべきです。

4 反対同盟は成田空港の廃港を求めます。

市東さんの農地の明け渡しを求め、反対同盟の看板・やぐらの収去を求めている成田空港会社は、会社の存続のために、ありもしない航空需要をでっち上げ、農民から土地を取り上げ、自然環境を破壊し、無駄に電気を使い、大量のCO2排出をうながし地球温暖化を促進している、とんでもない会社です。

いや、会社とは名ばかりの国営企業であり、国土交通省の利権のための会社にすぎません。今の社長は元航空局長であり、赤字になっても税金が投入されます。戦争になれば成田空港は軍事転用されることは明白です。

こんな会社に市東さんの農地は絶対に渡せません。われわれ反対同盟は、勝利するまで、成田空港の廃港と収去を求めて戦い続けます。

沖縄「復帰」50周年 記念式典弾劾！



沖縄「復帰」50周年記念式典が5月15日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開かれた。辺野古新基地建設・日米同盟強化を進める岸田首相の式典出席に抗議する人々が会場前に詰めかけ、「岸田は帰れ」「すべての基地を撤去しろ」「ふたたびの侵略を許さないぞ」と怒りの声を上げた。県民の4人に1人が犠牲になった沖縄戦の教訓「軍隊は住民を守らない」を胸に刻み、岸田政権の進める戦争準備に反対しましょう。

オスプレイNO！ 基地撤去！ 横田デモ

4月28日は1952年のサンフランシスコ講和条約発効で沖縄が日本から切り離され米軍の統治下におかれた日です。

この「4・28 沖縄デー」の一環として東京・福生市にある米軍横田基地へのデモが4月29日、実行委員会の主催で行われました（写真）。

反対同盟から伊藤信晴さんが駆けつけ、集まった70人の参加者とともに戦争反対・基地撤去の声を上げました。



地域住民の声

今回は横芝光町住民から。成田空港機能強化を進める根拠の右肩上がりの航空需要予測は幻となりました。機能強化は凍結すべきとの声が高まっています。

◆コロナ禍で需要は一変した。利権確保のための機能強化は凍結すべき。 横芝光町 農業

右肩上がりの予想をもとにつくられた「成田空港機能強化策」だが、コロナ禍で需要は一変した。コロナ前19年発着26万回強、昨年13万回弱、19年に比べ50%に満たない。仕事のやり方も国際会議ですらリモートで行う時代を迎えた。航空機利用は「飛び恥」と言われる。

貨物取扱量は19年203万トから21年259万トと過去最高を記録し、成田空港は貨物空港化した。貨物は大型が多く、NAAの言う「低騒音機」とは程遠いうるささだ。

機能強化策で右肩上がりの需要になるとはどうしても考えられない。騒音は深夜11時以降まで及ぶようになった。時ならぬ時間に飛ぶ飛行機の音で目を覚ますと年寄りもなかなか寝付けなくなり健康障害を引き起こしている。

機能強化策を進めるために、国・県・NAAは一体となって無法なことを行っている。いい例が、横芝光町中台では、エルデン62の民家の移転補償をすと言い、C滑走路供用後にエルデン62の騒音下になる住民が「移転させてくれ」と言っても、「法律でできない」と言う。これでは法の下での平等を掲げた憲法に違反する。法治国家とは言えない。

こんな無茶ぶりで、需要予測が激変しても建設をするということは、巨大プロジェクトに絡む利権確保のためかと思わざるをえない。

流れてくる噂では、用地買収1反歩1～2千万円という常識では考えられない価格だ。こんな計画は凍結して住民に迷惑をかけない空港にするため考え直すいい機会ではないか。

5・29天神峰カフェにご参加を

5月29日(日)正午、成田市天神峰の市東さん宅離れで天神峰カフェを開きます。天気が良ければ中庭でオープンカフェ。採れたて野菜の手料理を囲み、一緒に午後のひとときを過ごしませんか？

ご連絡は太郎良(たろうら)陽一 090(1855)8189まで。